【１分でわかるMIN-TSUKU通信】

未来の学校をみんなでつくる通信（MIN-TSUKU通信）
～学校再編準備室からのお知らせ～

vol.12
（2026年11月2日発行）

▌今回のテーマ：「学校と防災」について

各学校運営協議会に参加する中で、学校の防災、災害リスクについて、意見や質問が多く寄せられました。洲本市の地域防災計画では、各小中学校を指定避難所としており、学校は子どもたちの学びの場だけではなく、地域の防災拠点としても大事な役割を担っています。

◆学校の防災の基本方針

市内の小中学校では、各学校ごとに、学校安全計画や危機管理マニュアルが作成され、子どもたちの安全・安心を守るため、年間を通じて様々な活動がされています。震災・学校支援チーム（EARTH※）メンバー7人（R8現在）と、各校の防災担当教員が中心となり、防災・減災を推進しています。

※阪神・淡路大震災をきっかけに組織された、兵庫県独自の教職員組織で、兵庫の防災教育の推進、被災地の学校の早期再開や子どもたちの心のケアを支援しています。

備品等	設備
ポータブル電源（全校）	太陽光発電（全校）
大型扇風機（全校）	蓄電池（7校）
電動トイレ	防災井戸（6校）
防災食　等	マンホールトイレ（1校）
（小学校区で配置）	防災キーボックス（4校）

注）発行日時点の状況です。

◆防災教育

防災教育指導計画にそって、小学校では学年段階に応じて、中学校では実践的な防災教育を、教科等を横断した多角的な学習が行われています。例えば、理科では、地震・気象災害のメカニズムを学び、保健体育や道徳では、災害・事故による傷病防止、応急手当、命の尊さやボランティア精神などについて学んでいます。



◆地域との連携

学校ごとに地域に根差した防災・減災学習が行われています。

▌洲本第二小学校の取組・・・学校防災体制推進校（R7、R8）に指定されている洲本第二小学校にお話を伺いました。

学期ごとに想定や内容を工夫して、**避難訓練**を実施しています。

【1学期】…「火災避難訓練」と「保護者引き渡し訓練」　『おさない はしらない しゃべらない もどらない てんこまで』
【2学期】…「南海トラフ巨大地震・津波想定訓練」でシェイクアウト後、洲本幼稚園と合同での縦割り班による二次避難（市役所、曲田山）訓練
【3学期】…「1.17集会」として、1・6年生は防災スリッパづくりなど、2・3年生は、消防団と消火訓練、消火活動見学、4・5年生は、公衆電話および災害用伝言ダイヤル体験を行っています。あわせて、防災給食による食の学習として、備蓄食品や簡易給食を試食・体験しています。1年間の学習の節目として「キッズ防災認定」を授与しています。

その他、オープンスクール時に、保護者と一緒に「非常用持ち出し袋」を作るワークショップを開催するなど、年間を通じて防災教育を推進しています。校内のグリーンルームや職員室前には、独自の防災戦隊キャラクターのクイズや防災・減災に関する展示が常設されていて、自然と知識が身につく工夫がなされています。





「一歩先手の行動」が命を守る！

たとえ結果的に被害がなくても、「確認できて良かった」「安心できた」と受け止めること。迷わず事前避難を重ねる行動こそが、いざという時の最大の備えになります。
（EARTH員 談）

▌洲本第二小学校ってどんな学校？・・・「教育要覧」より

学校教育目標：「つながる やりぬく　おもいやる」



島内で最も古い153年の歴史と伝統を受け継ぐ学校です。島まつりには毎年、洲二っ子で構成される「にっしん連」が阿波踊りに参加しています。

▌募集中！

学校再編に向けてご意見を募集しています。
（ＨＰ内で公開中）
いただいたご意見については、こちらで紹介し、疑問点にお答えしていきます。

▌次回のテーマ：第2回由良小中学校学校運営協議会の様子をお知らせします。

--- ▌発行者 ▌ ---
洲本市教育委員会事務局
教育総務課 学校再編準備室
☎0799-22-3331
✉kyousou@city.sumoto.lg.jp